

「わたしファイル」について

「わたしファイル」とは

「わたしファイル」は、高齢者とその家族が、自分の住む地域で、医療と介護を隙間なく安心して受けることができるように作成しました。

「わたしファイル」を通じて、かかりつけ医や病院、ケアマネジャー、介護サービス事業所など（＝医療や介護の関係者）がよりいっそう連携して、適切な医療や介護を行うことができますようになります。



「わたしファイル」の内容

○ 「大切な情報」

- (1) ケアマネジャー等が、連携のために必要な情報のシートを挟み込みます。緊急時の連絡先や関わっている医療機関、介護事業所等の連絡先を記入し、相互の連絡を取りやすくします。

○ 「介護の状況」

- (1) 介護の関係者が、普段使っているシートを挟み込み、介護の状況を共有します。

○ 「医療の情報」

- (1) 医療の情報のシートを挟み込み、医療や介護の関係者が共有します。
- (2) 受診情報は誰が記入しても結構です。日付と医療機関名のみでの記入でも結構です。医師に質問したいことなどあればメモしておくといえます。

※ お薬の情報

お薬手帳をお持ちの方は「わたしファイル」とセットにしておかれると記入の必要はありません。お薬手帳と別にされる方は、お薬の説明書などを挟み込んでおきましょう。

○ 「みんなの連絡帳」

- (1) 医療や介護の関係者に連絡したいことなどがあれば記入してください。また逆に、医療や介護の関係者からの連絡もあります。



利用の仕方

◎ 利用の仕方

- (1) 初めての病院やクリニックを受診する際や、初めて介護サービスを利用する際は、持参するなどして見てもらいましょう。
- (2) 入院やショートステイ利用の際には、持って行って見せましょう。
- (3) ベッドの傍などのよくわかる場所に置いて、いつでも取り出せるようにしておきましょう。
- (4) 万一、救急車を呼んだ際などは、このファイルを見せることで、普段かかっている病院や主治医に連絡がとれ、よりスムーズな受診に繋がります。

◎ 同意書 ・ 保管場所 ・ 関係機関に伝えておきたいこと

- (1) 「わたしファイル」の利用に同意される方は、「同意書」に署名してください。必ずしもご本人とご家族両方の署名は必要ありません。
- (2) 保管場所を決めて記入しておきます。いつも同じ場所において、関係者がいつでも見ることができるようになります。緊急の際に置き場所がわかるよう、カードを玄関扉内側や電話の近くに貼っておきましょう。
- (3) 医療や介護の関係者に知っておいてもらいたい大切なことがあれば記入してください。



あまがさき市わたしファイルを作成しました！



「わたしファイル」って？

在宅で療養されるご本人とご家族が、安心して暮らすための医療や介護関係者などの情報共有ツールです。

医療や介護の関係機関に知ってもらいたいこと、伝えたいことを理解してもらい、対応してもらえるようになります。

また、医療や介護の関係機関が情報を共有することで、より生活に即した治療やサービスが受けられるようになります。

ご本人・ご家族

在宅で療養されている方、介護を受けながら生活されている方を、医療や介護関係者が連携して支えます。

急な入院などの時に、早く適切な対応ができます。



介護関係機関など

医療の状況も知った上でケアプランを作成したり、介護サービスを提供したりできます。

ご本人やご家族の状況を医療機関と一緒に考えることができます。

医療機関・薬局

日ごろの暮らしの様子や介護サービス利用の様子を知ることにより、生活面にも配慮した医療を提供できます。

医師や薬剤師は、薬を変更した場合に病状の変化や服薬後の状況の情報が得られることで生活に即した対応ができるようになります。

企画・監修：尼崎市医療介護連携協議会